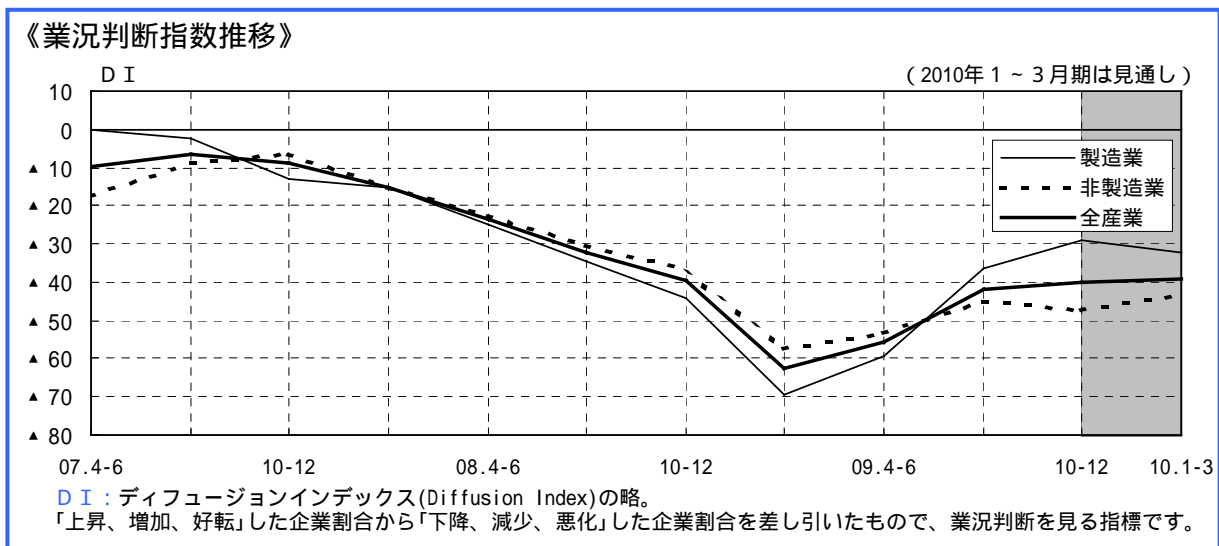


業況概要(自社) ～ 製造業はD Iの上昇続くも、非製造業はわずかに低下～

静岡県東部地域における2009年10～12月期の業況判断D I (対前年同期比)は、全産業で▲40.2(前期▲42.0)とわずかながら上昇した。うち、製造業の業況判断D Iは▲29.1(同▲36.2)で前期に続き改善されているが、非製造業では▲47.2(同▲45.3)とわずかに低下している。製造業では利益動向D Iが3期連続して上昇するなどの動きもみられ、製造業と非製造業との間で改善の程度に差が出てきている。

2010年1～3月期の予想D Iは全産業で▲39.0とわずかながら上昇を見込んでいるものの、製造業で今期比若干低下するなど先行きに対する慎重さがうかがわれる。



《業種別天気図》

業況上昇 ← → 業況下降

	製造業	食料品	紙・パル プ・紙加工 品	一般機械 器具	非製造業	卸・小売・ サービス 業	旅館・その 他宿泊所	建設業
2009年 7～9月期	☔	☔	☔/☔	☔	☔	☔	☔	☔
2009年 10～12月期	☔	☔	☔/☔	☔	☔	☔	☔	☔
2010年 1～3月期	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔

2010年1～3月期は見通し

《調査の概要》

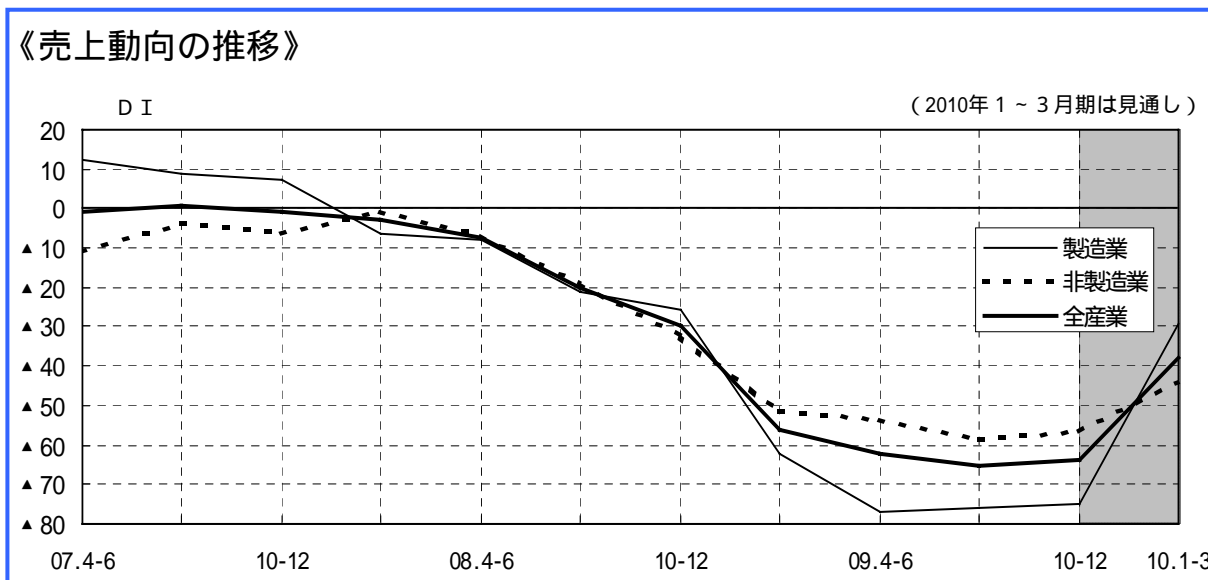
- | | |
|---|--|
| <p>1. 調査目的
静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握</p> | <p>3. 調査方法
当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査</p> |
| <p>2. 調査対象企業
静岡県東部地域に立地する企業 1,005社
回答数 264 (回答率 26.3%)
業種別企業数は4ページ図表を参照</p> | <p>4. 調査対象期間
実績:2009年10～12月期
見通し:2010年1～3月期</p> |
| | <p>5. 調査時点
2009年11～12月</p> |

売上動向

引続き低水準も来期の予想D Iは大幅な上昇見込む

2009年10～12月期の全産業の売上動向D I（対前年同期比）は▲63.9（前期▲65.0）とわずかながら上昇に転じたが、引続き低い水準にとどまっている。うち、製造業では食料品でやや上昇、パルプ・紙・紙加工品でやや低下し、全体D Iは▲74.8（同▲76.2）となった。また、非製造業では旅館・その他宿泊所やその他小売・サービス業等でD Iが上昇、建設業では下落し、全体D Iは▲56.9（同▲58.6）となっている。

一方、2010年1～3月期（見通し）の予想D Iは全産業で▲38.0と大幅な上昇を見込んでいる。うち製造業では▲29.1と特に上昇幅が大きく、期待感が示されている。また非製造業も▲43.8と今期比大幅な改善を見込んでいる。

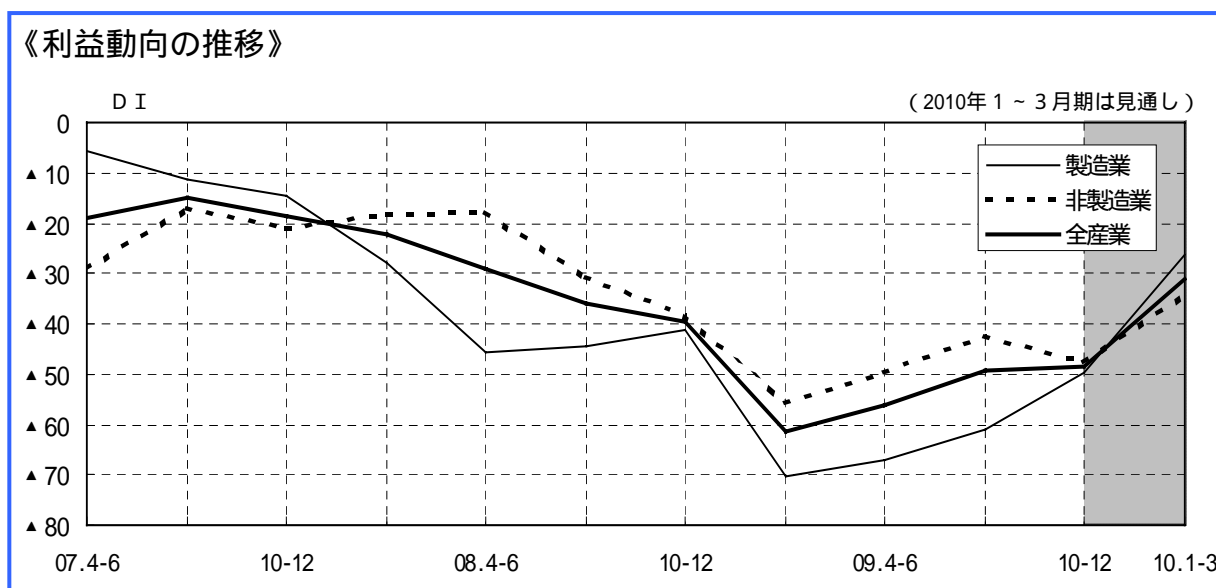


利益動向

製造業では連続してD I上昇、非製造業は低下

2009年10～12月期の全産業の利益動向D I（対前年同期比）は▲48.5（前期▲49.3）で、前期比ほぼ横ばいで推移した。うち、製造業は食料品でD Iが大幅に上昇し、金属製品や一般機械器具でもやや上昇したため、全体D Iは▲49.5（同▲61.0）と3期連続で上昇している。D Iの水準は低いものの、製造業では利益面での改善が徐々に現れているとみられる。一方、非製造業では建設業でD Iが悪化し、その他の業種では概ね横ばいで推移したため、全体D Iは▲47.8（同▲42.5）と低下した。

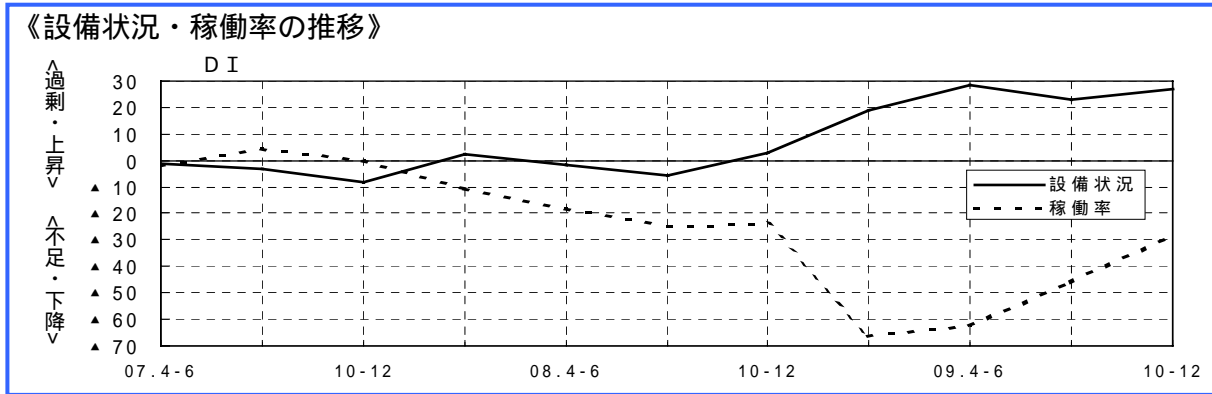
2010年1～3月期（見通し）の予想D Iは、全産業で▲31.1と今期比大幅な上昇を見込んでいる。うち、製造業の予想D Iは▲26.2、非製造業は▲34.2といずれも上昇を見込み、先行きへの期待感が出ている。



**設備状況・稼働率
(製造業)**

設備状況は「過剰」判断続くも、稼働率の「下降」感弱まる

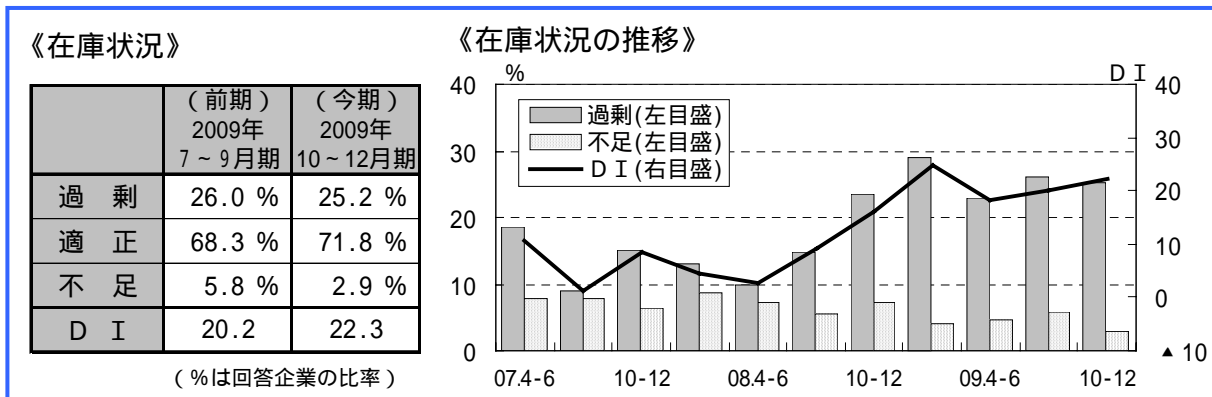
2009年10～12月期の設備状況DIは27.2(前期22.9)と再び上昇に転じ、「過剰」判断が続いている。業種別では一般機械器具でDIが低下したが、その他の業種はいずれもDIが上昇している。
一方、稼働率DIは▲28.2(同▲45.7)と3期連続で上昇し、「下降」感は一時よりも弱まってきている。食料品や金属製品を中心にすべての業種でDIは上昇している。



在庫状況(製造業)

DIは前期に続き上昇、在庫過剰感がやや強まる

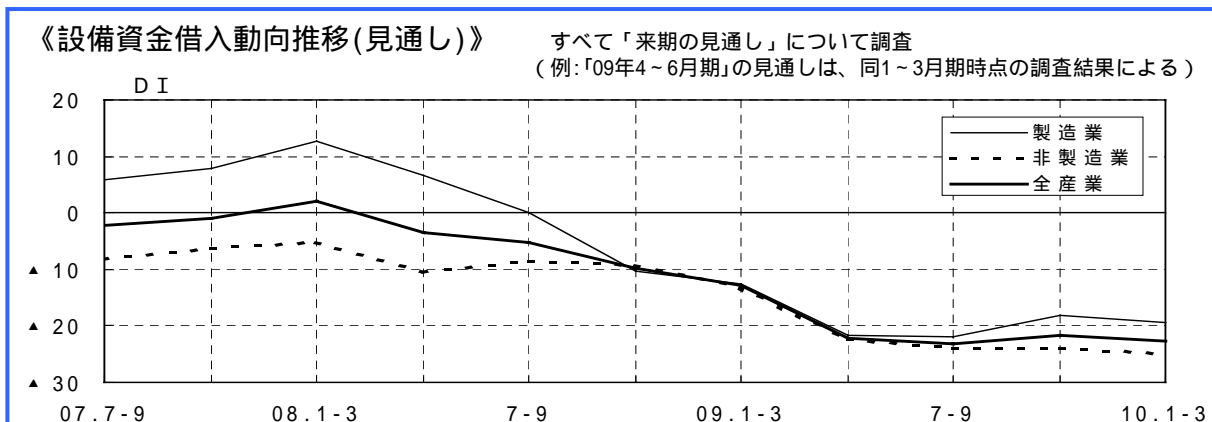
2009年10～12月期の在庫状況(製造業)DIは22.3(前期20.2)となり、前期に続き在庫過剰感がやや強まった。「過剰」と判断する企業の比率は概ね横ばいであるが、「不足」とした比率が低下している。
業種別では、食料品や一般機械器具でDIが低下、パルプ・紙・紙加工品や金属製品でDIが上昇となったが、いずれも判断としては引続き「過剰」の範囲内にある。



**設備資金借入
動向(来期)**

製造業、非製造業ともわずかにDIが低下

2010年1～3月期(来期)の全産業の設備資金借入動向(見通し)DIは▲22.8(前期▲21.8)とわずかながら再び低下に転じた。うち製造業は▲19.4(同▲18.1)、非製造業は▲25.0(同▲24.0)で、全産業と同様わずかながらDIが低下している。



経営上の問題点

「回収条件の悪化」が問題点として浮上

「受注・売上の停滞・減少」(78.0%)と「過当競争・製品安」(48.9%)が上位を占める状態は今期も変わらないが、「過当競争・製品安」の比率がやや上昇している。この他では、前期いったん上昇した「原材料・仕入商品の値上がり」はほぼ横ばいで推移した。一方で「回収条件の悪化」が問題点として浮上している。特に非製造業での指摘が目立ち、資金繰り等経営環境の悪化した企業の増加が懸念される。

《経営上の問題点(上位8項目)》

(社、%)

	09年4～6月期		09年7～9月期		09年10～12月期		順位 変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	238	81.0	228	79.7	206	78.0	
2. 過当競争・製品安	139	47.3	130	45.5	129	48.9	
3. 人材の育成	86	29.3	94	32.9	87	33.0	
4. 従業員の高齢化	57	19.4	57	19.9	52	19.7	
5. 生産・販売能力の不足	61	20.7	68	23.8	50	18.9	
6. 人件費の増加	48	16.3	41	14.3	44	16.7	
7. 原材料・仕入商品の値上がり	33	11.2	41	14.3	36	13.6	
8. 回収条件の悪化	22	7.5	28	9.8	30	11.4	

《業種別：回答企業数およびD I》

設備資金は来期の見通し、それ以外は今期実績

業種	企業数	売上動向	利益動向	設備状況	稼働率	在庫状況	設備資金
食料品	12	▲58.3	▲8.3	▲25.0	▲16.7	16.7	25.0
パルプ・紙・紙加工品	17	▲64.7	▲11.8	0.0	▲11.8	52.9	▲17.6
金属製品	16	▲87.5	▲87.5	50.0	▲12.5	25.0	▲43.8
一般機械器具	23	▲82.6	▲78.3	34.8	▲47.8	17.4	▲26.1
その他製造業	35	▲74.3	▲45.7	42.9	▲34.3	11.4	▲20.0
製造業計	103	▲74.8	▲49.5	27.2	▲28.2	22.3	▲19.4
旅館・その他宿泊所	18	▲72.2	▲72.2	-	-	-	▲11.1
その他小売・サービス業等	96	▲54.7	▲39.6	-	-	-	▲19.8
卸・小売・サービス業計	114	▲57.5	▲44.7	-	-	-	▲18.3
建設業計	47	▲55.3	▲55.3	-	-	-	▲40.4
非製造業計	161	▲56.9	▲47.8	-	-	-	▲25.0

特別調査：
2010年の見通し

44.3%の企業が自社業況を「下降・やや下向き」と予測
先行きに対する見方は依然厳しい

2010年通年の業況見通し(09年比、回答企業は上記と同じ)は、全産業で「上昇・やや上向き」が24.2%に対し、「下降・やや下向き」が44.3%となり、企業の先行きに対する見通しは依然厳しい。業種別では、「下降・やや下向き」が製造業では35.0%に対し、非製造業では50.3%と約半数に達し、先行きについてより厳しい判断を示している。

なお、売上や利益の見通しについても同様に非製造業の回答が製造業より厳しくなっている。

調査時点と比較した10年末の従業員数(非正規等含む)は全産業で56.1%が「概ね横ばい」としているが、「減少する」も21.6%あり、従業員数抑制の動きが一定割合で継続することをうかがわせる。業種別では、「減少する」の比率は製造業・非製造業ともほぼ同様だが、「増加する」は非製造業で10.6%と製造業よりやや高くなっている。

また、09年と比較した設備投資計画の見通しについては、全産業で「減少する」が31.4%に達している。一方で、「現時点ではわからない」または無回答とした企業も25.8%あり、設備投資を抑制する動きと併せて、先行きの不透明感に対する企業の懸念の強さがうかがえる。

【自社業況見通し】 (%)

	製造業	非製造業	全産業
上昇	4.9	2.5	3.4
やや上向き	23.3	19.3	20.8
概ね横ばい	32.0	25.5	28.0
やや下向き	23.3	29.2	26.9
下降	11.7	21.1	17.4
無回答	4.9	2.5	3.4

【10年末の自社従業員数】 (%)

	製造業	非製造業	全産業
増加する	3.9	10.6	8.0
概ね横ばい	60.2	53.4	56.1
減少する	21.4	21.7	21.6
わからない・無回答	14.6	14.3	14.4

【自社設備投資計画】 (%)

	製造業	非製造業	全産業
増加する	7.8	9.3	8.7
概ね横ばい	33.0	34.8	34.1
減少する	26.2	34.8	31.4
わからない・無回答	33.0	21.1	25.8